

(第3種郵便物認可)

## 青色光に強い殺虫効果

### 県森林研 キノコ生産の研究発表



青色光で害虫を駆除する研究を説明する大橋さん=11日、関市わかくさ・プラザで

県森林研究所(美濃市)は、関市わかくさ・プラザで研究成果発表会を開いた。研究員五人が林業やキノコ生産に関わる最新の成果を発表し、林業関係者ら百二十人が聞き入った。

森林環境部長の大橋章博さんは、シイタケの害虫・キノコバエの仲間を青色光で殺虫する研究を発表。シイタケの菌床で飼育したフタマタナガマドキノコバエの幼虫に発光ダイオード(LED)の青色光を当てると、同じ光の強さの蛍光灯と比べ90%以上の殺虫効果があることを示した。

シイタケの害虫防除には農薬を使えず、粘着シートや光による誘引で殺虫してきたが、効果は限定的だった。大橋さんは「安全で効果的な殺虫方法が開発でき

るかもしれない。今後、さなぎや成虫、他種の高エにも有効であるかを確認したい」と話した。

口頭発表の後にはポストカードもあり、来場者はポスターの前で活発に意見交換していた。(鈴木太郎)

岐阜県森林研究所ホームページ掲載期限：令和2年7月30日

この記事は中日新聞社の許可を得て掲載しています。